

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	舞台ゼミ3	
科目基礎情報							
開設学科	演劇スタッフ科		コース名			開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時限数	120時限
単位数	4 単位					授業形態	実習
教科書/教材	必要時、資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。教材、機材は教室内のものを使用する。						
担当教員情報							
担当教員	深水 みゆき			実務経験の有無・職種	有・舞台音楽スタッフ		
学習目的							
舞台スタッフとして業界で活動し仕事としていくうえで、ミュージカルや音芸に携わる機会も少なくないという観点から、舞台図面と同時に、携わった公演の楽譜の解釈も大切になる。スタッフワークのスキルの幅を広げ対応力の向上を目的とする。音感を養うと共に、楽譜を読む力を養うことを学び、楽譜に対する苦手意識を克服し、楽譜から立体的に舞台化する感覚を持てるようにする							
到達目標							
舞台スタッフとして業界で仕事をしていくうえで、ミュージカルや音芸に関わることも念頭に置き、リズム感、音感を養い、楽曲を聴きながら譜面を追うことができるようにする。演劇スタッフとして楽譜で示されるオーダーに応えられるスキルを身につける。この授業でえたスキルが舞台スタッフの対応力の幅と考え、その向上を目標とする。							
教育方法等							
授業概要	音楽の基本理論を理解し実際に曲を聴きながら、様々なジャンルの楽譜と触れあう。						
注意点	スタッフの仕事と密接に関係する音楽を積極的に理解しようとする姿勢を求める。音楽鑑賞ではない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受講することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験	70%	楽譜に示されている情報をどのくらい理解できているか確認する				
	成果発表	20%	理解したことをどのくらい実践できるか実施する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度により評価する				
授業計画（1回～15回）							
	授業内容			各回の到達目標			
1回	自己紹介・授業概要 前半			各々の目的意識を高め、スタッフワークと音楽の関係を共通認識として理解する			
2回	自己紹介・授業概要 後半			後半の学生の自己紹介を行い、前回に引きつづいての講義を学ぶ			
3回	楽典・楽譜を読む 音符			音符、休符、リズム、音名・ミュージカルの歴史・馴染みのあるJ-POPを楽譜で見る 音符、休符を中心に学ぶ			
4回	楽典・楽譜を読む 楽譜			音符、休符、リズム、音名・ミュージカルの歴史・馴染みのあるJ-POPを楽譜で見る 楽譜を通して学ぶ			
5回	楽典・楽譜を読む 反復記号			反復記号・ミュージカルの歴史・馴染みのあるJ-POPを楽譜で見る 反復記号を中心に学ぶ			
6回	楽典・楽譜を読む 楽譜			反復記号・ミュージカルの歴史・馴染みのあるJ-POPを楽譜で見る 楽譜の中の反復記号を理解する			
7回	楽典・楽譜を読む 拍子・小節線			拍子と小節線・ミュージカルの歴史・馴染みのあるJ-POPを楽譜で見る、その中の拍子を学ぶ			
8回	楽典・楽譜を読む 楽譜 J-POP			拍子と小節線・ミュージカルの歴史・馴染みのあるJ-POPを楽譜で見る、その中の小節線を学ぶ			
9回	楽典・楽譜を読む 強弱記号			強弱記号・ミュージカルの歴史・クラシックの楽譜を見る 強弱記号を中心に学ぶ			
10回	楽典・楽譜を読む 楽譜 クラシック			強弱記号・ミュージカルの歴史・クラシックの楽譜を見る			
11回	楽典・楽譜を読む 記号について			発想記号・速度記号・ミュージカルの歴史・クラシックの楽譜を見る			
12回	楽典・楽譜を読む ミュージカル			発想記号・速度記号・ミュージカルの歴史を中心に学ぶ・クラシックの楽譜を見る			
13回	試験の振り返り 楽譜			試験を振り返り理解度を確認し、復習する 楽譜の読み解きを中心に振り返る			
13回	試験の振り返り ミュージカルの歴史			試験を振り返り理解度を確認し、復習する ミュージカルの歴史を中心に振り返る			
14回	まとめ 前半			前期のまとめ 楽譜や記号についてのまとめ			
15回	まとめ 後半			前期のまとめ ミュージカルについてのまとめ			
授業計画（16回～30回）							
	授業内容			各回の到達目標			
16回	授業成果発表の計画			授業成果発表の計画をたてる。個人案を出す			
17回	授業成果発表の計画～準備			授業成果発表の計画をたてる。計画～準備			
18回	授業成果発表の計画、グループ分け			個人案を持ち寄り、発表のグループ分けを行う			
19回	授業成果発表の計画、グループごと			発表のグループ分けから各パートの把握			
20回	グループ練習 打ち合わせ			グループに分かれ、打ち合わせ			
21回	グループ練習 パート分け			グループごとの練習 パートを定める			
22回	グループ練習 1			グループごとの練習 パートの確認			
23回	グループ練習 2			グループごとの練習 各パートのまとめ			
24回	グループで合わせる			グループごとの練習 個人練習から合わせへ段階を上げる			
25回	グループ練習 合わせ1			グループごとの練習 発表から逆算しての練習			
26回	グループ練習 合わせ2			グループごとの練習 まとめ			
27回	授業成果発表 リハーサル 前半			各グループごとにリハーサル 順番を決め、通す			
28回	授業成果発表 リハーサル 後半			各グループごとにリハーサル 後半、最後の組まで			
29回	授業成果発表			本番発表			
30回	まとめ			授業成果発表を振り返り まとめ			